

2月定例市議会

2月17日から開会した当初議会は、昨年引き続き今年もコロナ対策ということ、で、代表質問以外は人数を絞るとされ、一般質問は私人となりました。議会の会期もかなりタイトで、9日が最終日と

なるなど例年に比べ1週間以上短い会期となっております。時間に追われながら必要な質問や審議を行います。最終日の採決の結果については次号でお知らせします。

森下さち子一般質問

中学校給食

和歌山市でも中学校給食を全員に提供するために、2021年度は調査費をつけて実施方式を検討する段階に

計画を策定するという事です。2月16日には「よりよい中学校給食を考える会」のメンバーが自校方式とそのための体制を充実することを求める署名3220筆を教育長宛て提出しました。その際、現在共同調理場で調理され運ばれている小学校では、味が落ちたり調理員さんの顔が見えないなどの問題があるのではないかと、保護者としての意見も出されていきました。私は

回の質問でも小学校と同じ自校方式にすることを求めました。教育長は市民から提出された署名に対して、中学校給食に対する期待の表れであり、検討の際、参考にさせてもらうと答えました。また、市長は先進市の良いところを積極的に取り入れ、財政的にも子どもたちの未来への投資ととらえ確保すると答えました。

2月議会の真実です。冬の暖かくなった。孫の洗剤などさんでした。オミクロン株の感染は全く異なっています。検疫体制の充実について現場の声を届けます。

新型コロナウイルス対策

第6波といわれるオミクロン株による感染の急拡大により、保健所の機能がマヒ状態になるなど、ひっ迫した状況になっていきます。高齢者施設

に寒い日が多かった。寒さに加えて、感染性胃腸炎の患者が5波異なるようになっていきました。検疫体制の充実について現場の声を届けます。

(2面に続く)



一般質問をする森下さち子議員

(1面の続き)

や小・中学校でクラスターが発生するなど対策が追い付いていない現状です。私は、坂口議員が代表質問で指摘した現状や国の対策の遅れなどをさらに具体的に市がどう今後

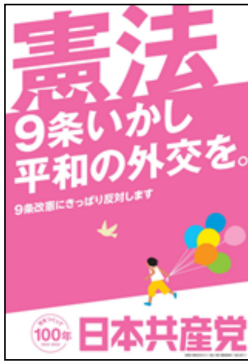
えるのか、本来、公衆衛生を担う保健所としての役割を果たすための体制について聞きました。

市長は国が示した11月のレベル分類を基にしており、1月からの急速な感染拡大は想定をはるかに超えており、保健所業務が一時危機的になった。増大した業務を県や

医療機関、市役所全体で分担し2月には順調に進むようになった。今後は急激な増加に対応できるよう本庁内にバックアップ体制を準備し今後の流行に備えると答えました。しかし、これでは臨時的な対応をこれからも続けるという他に他なりません。

公衆衛生の立て直しを

私は保健所そのものが臨調行革や三位一体改革の中で統廃合され、職員策の拠点として今後



新しくできたポスター
この他に3種類あります

無料 法律相談

井辺・森下さち子事務所にて

3月15日(火) 18:00~
30日(水) 13:30~
4月18日(月) 18:00~
28日(木) 13:30~

◆事前予約をお願いします。
市役所議員団控室
森下さち子まで
☎ **435-1113**



また、日本共産党がコロナ発症以来求めてきた、いつでもどこでも無料で受けられる検査をする考えについても聞きました。市長も健康局長も現在の検査のあり方を変えることは考えていないことが明らかになりました。医療機関や介護事業所な

検査を大規模、頻回に

えるためにも、国基準を見直すよう求めるべきだと指摘しました。

NHKの朝ドラは今、「カムカムエプリバディ」。今回はヒロインが3人で朝ドラ始まって以来初だそうです。大正生まれの「安子」、昭和生まれの「るい」、そしてちょうど私と同世代の「ひなた」で100年間に及ぶ家族の物語が描かれています。背景には「NHKラジオ英語講座」があり、3世代をつなぐものとなっています。題名はそのテーマソングから来ています。原曲は♪しようじょうじのためきばやし♪を英語の歌詞に変えていて、聞いたときはびっくりしました。今の放映は「ひなた」の時代で毎日楽しく見えています。